

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男12

男子 2回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名															
関東第一高等学校	<u>16</u>	[<table border="0"> <tr><td>11</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>5</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td></td></tr> </table>]	11	—	10	5	—	14	—			—			—			<u>24</u>	県立不来方高等学校
11	—		10																
5	—		14																
—																			
—																			
—																			
		7mTC																	

男子2回戦、1回戦で接戦の末、近畿ブロック代表の桃山学院を下した、関東ブロック

代表の関東第一と東北ブロック代表の不来方の試合は、不来方のスローオフで始まった。

先制したのは不来方。海老子川の速攻で1点を先取する。一方関東第一は、すぐさま玉井

の得点で同点に追いつく。8分過ぎに不来方が退場者を出す、試合は一進一退の状況が

続く。関東第一は14分に笹崎、15分に里見の連続得点で8対5とリードを広げる。

一方の不来方も松坂などの得点で点差を詰めるが、11対10の関東第一リードで前半を

終了した。後半立ち上がり、関東第一の玉井が得点を決め、リードを2点差にする。

その後、お互いの、ゴールキーパーが好セーブを連発。前半同様、一进一退の攻防が続く。

10分に不来方は釜石、村上、小原の連続得点で逆転に成功。その後も試合終盤に不来方

は藤澤の得点などでリードを広げて、不来方が勝利を勝ち取った。

2019 年 3 月 25 日

記載者氏名 植村 崇紀

戦 評 用 紙

男13

男子 2回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
愛知高等学校	23	10	15	熊本市立千原台高等学校
		13	12	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

千原台高校のスローオフから試合は開始、3-3DFでゴールを堅守するが、愛知高校4番三谷光翼のサイドシュートで先制点を取り勢いにのる。開始7分で千原台高校に退場者がでるも、千原台高校1番の杉野壮一郎が好セーブを見せ、点差を広げさせない。その後、互角の戦いが続くも、徐々に千原台高校が点差を縮め、9番の中島尋人のミドルシュートで同点に追いつき逆転する。堪らず、愛知高校はタイムアウトを取るが、千原台高校の勢いは止められず、10-14の千原台高校のリードで前半が終了した。後半開始直後、愛知高校5番の小切間慶大らのシュートで3点連続得点し、追い上げる。しかし、千原台高校は後半もDFの手を緩めず、5番古閑太一の果敢な攻撃で粘りを見せる。愛知高校は得点チャンスを確実に決めていくも、なかなか点差は縮まらない。開始25分で千原台高校に退場者が出たところで、愛知高校は追い上げたかったが、積極的なDFからの速い攻撃で千原台が逃げ切り、3回戦へと駒を進めた。

2019年 3月 24 日

記載者氏名 瀬野 育美

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男14

男子 2回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立横浜南陵高等学校	21	[9 - 12 12 - 16 - - 7mTC]	28	県立香川中央高等学校

お互い、今大会初戦となる神奈川県代表の横浜南陵高校と香川県代表の香川中央高校の対戦。香川中央高校のスローオフで試合が始まる。試合開始、1分。高尾のサイドシュートが決まり、香川中央高校が先制し、さらに、木太の連続ゴールにより、点差を広げる。一方、横浜南陵高校は、4分平林、6分神藏のゴールにより点差を詰めるが、3点差となった7分、タイムアウトを取り、流れを変えようとする。その後、横浜南陵高校は、連続ゴールとキーパー鈴木のナイスセーブもあり、1点差とするが、香川中央高校の連続ゴールによって、4点差となる。お互い点数を重ね、前半は3点差で折り返す。

後半、先に香川中央高校が2連続ゴールを決める。その後は点を取り合い、3点差のまま5分を過ぎるが、6分に横浜南陵高校、7分に香川高校から退場者を出し、お互い1人少ない状態になる。その後、試合の流れをつかんだのは香川中央高校。点差が6点となる。横浜南陵高校も粘ったが、最終的には28対21で香川中央高校が勝利した。

2019年 3月 25日

記載者氏名 佐藤 瑞希

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男15

男子 2回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県立小松工業高等学校	<u>16</u>	[7 - 11 9 - 14 - - 7mTC]	<u>25</u>	瓊浦高等学校

2回戦、小松工業高校朝倉涼太が先制したのをきっかけに、小松工業高校が連続得点を決めるが、瓊浦高校も素早い速攻で反撃に出る。小松工業高校に退場者がでると、一気に瓊浦高校が連続得点を決めて、リードを広げる展開となった。流れを変えたい小松工業高校はタイムアウトをとるが、ミスから相手にチャンスを与えてしまい更にリードを広げられてしまう。徐々に流れを掴みだした小松工業高校は点数を重ねるも、前半は11対7で瓊浦高校のリードで終了した。

後半は、瓊浦高校松永和也の得点で始まり、そのまま勢いにのった瓊浦高校が速攻からのシュート、ミドルシュートと得点を重ねてリードを8点差に広げる。小松工業高校がキャプテン下坂真冬を中心に果敢に攻めるが、差を縮めることができない。残り時間4分のところで、マンツーマンディフェンスで勝負に出るが、瓊浦高校の勢いは止められず、25対16で瓊浦高校が勝利した。

平成31年3月25日

記載者氏名 後藤 太暉

平成30年度 第42回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男16

男子 2回戦

会場 三郷市総合体育館 コート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
県利府高等学校	<u>25</u>	[13 - 19 12 - 14 - - 7mTC]	<u>33</u>	浦和学院高等学校

地元開催の浦和学院のスローオフで試合開始。応援を背に No 3 の狩野が先制点を決め、出だし好スタートを切った。完全アウェーの利府もすかさず、7 mスローで取り返す。開始15分まで一進一退の攻防が続くが、先に抜け出したのは浦和学院。DFから速攻へと繋ぎ、確実に得点を重ねる。19分4点差が付いたところで、利府がタイムアウトを取る。少しでも流れを変えたかったが、浦和学院のDFをこじ開けることができない。前半、浦和学院が6点のリードで折り返す。後半、利府のスローオフで開始。利府は、得点チャンスを作るも、浦和学院 GK 中原のセーブに阻まれる。それでもDFで粘り、クロスやポストプレー、ロングシュートなど様々な攻撃で1点ずつ丁寧に取り返す。しかし、浦和学院の攻撃の手は緩まず点差は縮まらない。利府も No 2 松倉のカットインや No 8 佐藤の身体を張ったシュートで最後まで粘りを見せたが、浦和学院が最後まで主導権を握り、試合が終了した。

平成31年3月25日

記載者氏名 磯前 記世